



# 校長室の窓から

～校訓 真面目 精一杯 自主自律～

令和6年5月13日

城北中学校長  
山本 則夫

## 親から子へ 子から孫へ 受け継ぐ伝統

「懐かしいなあ…」昨年の大運動会、お孫さんが懸命に走る姿を目を細めて見つめるご高齢の方に出会いました。聞けばご自分も城北中の卒業生であるということでした。本校には、親子3代城北中出身という家庭もあります。本校の運動会では、祖父母の時代から、ほとんど形を変えず、今日まで引き継がれた種目もいくつかあります。

### 五万石船競争

【1967年】

56年後

【2023年】



昔は船に  
人を入れて  
運んで  
いました



本年度、新しい試みとして、これまで秋に実施していた大運動会を6月に移行しました。理由は熱中症の回避です。昨年は、9月に入っても猛暑が続き、熱中症アラートが毎日のように発出されました。その結果、練習もままならず、ほぼ練習なしで本番を迎えた種目もありました。6月は、梅雨時期でもあり、雨も心配されますが、練習量の確保という点では十分です。

さて、昨今の運動会は、練習時間の縮減や熱中症回避等を理由に規模の縮小、午前中開催という学校も多いです。本校は、昨年度から親子綱引きを復活させ、100m走、200m走の決勝も組み込みました。本年度は、さらに800m走、1000m走、50mハードル決勝を加え、全17種目と盛りだくさんの一日開催です。もちろん恒例のPTA企画の食品バザーも行います。保護者・地域を巻き込んだ一大イベントです。時代の流れと逆行するかもしれませんが、子供たちの活躍の場をひとつでも多くしたいと真剣に考えてくれた職員、早い時期からバザーの計画を練っていただいたPTA役員、準備を含め快く協力いただける80名を超える保護者ボランティアに感謝します。

大運動会当日は、長い一日になりそうです。大運動会が終わった後、心地よい疲れと、この上ない達成感を親子で味わっていただけることをお約束します。どうか、子供たちの輝く姿に熱い声援をお願いします。



【1967年 体操部の模範演技も披露】